

## 〈外国語科〉 5年

### 現在の分析

- ・「アルファベットの読み(聞く)」「アルファベットの書き(聞く)」について、まだ不慣れな部分がある。
- ・「単語の意味理解(聞く)」については、慣れてきているが、「日常会話の理解(聞く)」「会話全体の理解(聞く)」など、まとまった文章などになると、個人差がある。

### 重点課題

- 〈知識及び技能〉
  - ・「アルファベットの読み(聞く)」「アルファベットの書き」について、文字を識別したり、正しく書いたりすることに課題がある。
- 〈思考力、判断力、表現力〉
  - ・日常生活やまとまった会話を聞き、全体の内容を捉えることに課題がある。
- 〈学びに向かう力、人間性等〉
  - ・簡単な語句や基本的な表現を用いて自分や他者ことを第三者に紹介したり、英文を書いたりすることに課題がある。

### 授業改善策

- 〈知識及び技能〉
  - ・音声を聞き、活字体で書いた文字を認識できるよう、音声機器や外国語指導員の発音を聞かせて指導する。
  - ・活字体の小文字及び大文字を正しく書けるよう、小テストなどを活用して繰り返し学習させる。
- 〈思考力、判断力、表現力〉
  - ・日常生活に関する対話を聞く機会を増やし、全体の内容を推測できるように指導する。
  - ・話の概要を捉えることができるように、話の途中で判断せず、最後まで話を聞いて判断するように指導する。
  - ・短い物語などを聞く機会を増やし、話の概要を捉える練習をさせる。
  - ・例文を参考にしながら、自分のことや他者のことについて第三者に表現する機会を増やす。
  - ・発表の機会を設け、相手に伝わるように、文章を考えたり、話したりする経験を積ませる。
- 〈学びに向かう力、人間性等〉
  - ・授業の導入や展開を工夫し、児童が意欲的に授業に参加できるようにしていく。
  - ・距離を取ったり、時間を制限したりするなどして、コロナ対応に気を付けながら、ペアやグループでの活動を取り入れ、相手の話を聞いたり、自分の意見を話したりする機会を増やす。
  - ・自分や第三者について、簡単な語句や基本的な表現を用いて表現する活動を取り入れ、話したり、書いたりする経験を積ませる。
  - ・目的や場面設定を工夫し、児童自らが伝えたいという思いを引き出し、主体的に取り組む態度を育てる。
  - ・外国語指導員や手紙の交換・オンラインなどを通じて他校の児童や海外の方々と交流する機会を設け、英語を活用して交流する楽しさを味わわせ、進んで関わろうとする態度に繋げる。